

今年も高鷲町民祭で文化財保護協会が「鷲見氏関係」資料を展示

令和5年高鷲町民祭が高鷲町民センターを会場に、10月15日（日）に開催された。当日は朝から雨が降り、その後天気は晴れたり雨が降ったりおかしな天気であったが、無事開催された。

高鷲文化財保護協会では、平成23年度の町民祭で、町民センター2階のギャラリーに開拓資料室が郡上市教育委員会の手によって開設されたのを契機に、満州開拓民の引揚者の蛭ヶ野在住のT氏に展示資料の説明と満州開拓の経験談を話して頂いた。

平成26年になって、町民センター内の旧高鷲図書館が診療所横に移転する事になり、その跡地に『たかす開拓記念館』を設置する話が持ち上がり、高鷲文化財保護協会会員と山田幸男氏が永年収集した民具をもとに、平成28年4月24日に開館した。

たかす開拓記念館のコンセプトは、『拓く力』で、2階部分を満州開拓に関する「琿春高鷲開拓団」「郡上村開拓団」を中心に郡上郡内の開拓団について展示や映像で紹介している。また満州で亡くなった開拓団の人々のご芳名を記載した銘板も展示してある。1階部分は戦後の高鷲村の開拓の様子や民具などを展示した民俗資料館となっている。その内容については「会報高鷲の文化財」第22号をご覧ください。なお、開館から説明を高鷲文化財保護協会の役員が担当するつもりでしたが、開拓記念館の担当者の領域を侵すと考えられ、案内することは拒絶されました。文化財保護協会会員は、開拓記念館の掃除を年3回するだけとなりました。



高鷲開拓資料室



令和4年になって、コロナ禍で中止になっていた高鷲町民祭が再び開催される事になり、高鷲文化財保護協会では、町民センターホワイエの一面に展示ブースが与えられ、本協会でするなど『郡上鷲見氏820年』にむけて準備しました。

その内容の詳しくは、「会報高鷲の文化財」第45号、46号、47号、49号、53号、58号、59号、60号で紹介しましたのでご覧ください。そして、冊子『鷲見氏・鷲見郷一覽』が令和5年3月に完成出版し、その刊行シンポジウムを令和5年7月8日（土）に行いました。

町民祭では、資料の原本を展示、資料説明を保護協会の会員が担当して多くの町民・市民にPRしました。

主な展示物

- ・ 鷲見氏系図
- ・ 高鷲文化財保護協会所蔵の鷲見家譜
- ・ 森ひろみ 氏所蔵の鷲見家系図、鮎走由緒略記、鮎走由緒書、白山登記録
- ・ 明治 13 年記名の日の丸
- ・ 養老元年記名の鮎走白山神社幟
- ・ 高鷲の文化財マップの写し
- ・ 鷲見郷の穴洞村、正ヶ洞村々絵図の写し
- ・ 大日岳三村絵図写、鷲狩り伝説のビデオ



令和5年度文化財保護協会

第2回研修旅行（日帰り）

1. 日時：令和5年10月17日（火）7時45分までに振興事務所前に集合

2. 日程：関ヶ原古戦場記念館（9：30）



昼食（11：30）



徳川家康、石田三成陣地見学（13：30）



岐阜市歴史博物館特別展見学（14：30）



高鷲振興事務所（17：30）

3、費用：入場料金：各自負担、昼食料金:各自負担
その他の経費は多少必要と思われる。